

「旭川ウェルビーイング・コンソーシアム」

設立趣意書

今日の成熟化した経済と少子高齢化の渦中であって、地域経済は低迷を続けています。旭川市にあってもその例外ではありません。右肩上がりの時代のビジネスモデルや自治体運営は転換を強いられており、大学運営においても同様であります。

膨大な国家財政赤字と人口減少の進展という環境下で、国は「均衡ある国土の発展」を目指す従来からの政策を転換させ、地域社会に対しても新たな運営モデルの模索を迫っています。こうした状況の下、地域社会において地域の知的創造の拠点たる大学や公的研究機関と優位性のある産業を核とした地域クラスターを形成し連携を促進することは、それぞれの機能強化と新たな産業育成や地域再生を図るための試みの一つであると思います。地域クラスターの核となる大学コンソーシアムの結成は、こうした試みにとって不可欠であります。

このコンソーシアムは、旭川市の高等教育機関が相互に連携・協力し、旭川市内の高等教育全体の質の向上を図るとともに、旭川エリアが有する豊かな自然環境や健康保養資源を基盤として、地域資源に根ざした産業群との協働と、住民と行政の自主的・積極的な参加のもとに、医療機関が集積する旭川エリアの地域優位性を活用して形成されるものであります。科学的エビデンスに基づいた諸取り組みを継続的に実践することにより、住民の身体的・精神的・社会的な健康（ウェルビーイング）の達成と旭川エリアの教育・地域振興を図ることを目指し、その実現に取り組むことを目的とします。

旭川市内の高等教育機関である旭川医科大学、旭川大学・旭川大学女子短期大学部、東海大学旭川校舎、北海道教育大学旭川校、旭川工業高等専門学校、そして旭川市が持つ知的資源の関連づけや、

それらの融合による「旭川ウェルビーイング・コンソーシアム」の結成は、こうした背景と使命を持つものであります。

私達は、上記の認識を共有し、ここに、旭川市内の高等教育機関が連携・協力することにより、それぞれの教育・研究機能の強化を図り、その成果を地域社会に還元し、地域の発展に貢献することを目的として、「旭川ウェルビーイング・コンソーシアム」を設立します。

平成20年5月26日

旭川医科大学 学長 吉田 晃敏

旭川大学

旭川大学女子短期大学部

学長 山内 亮史

東海大学旭川校舎

芸術工学部長 小林 謙

北海道教育大学

副学長（旭川校担当） 芝木 邦也

旭川工業高等専門学校

校長 高橋 英明

旭川市長

西川 将人